



日本キリスト教団

名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)

名古屋市西区天神山3-7 Tel.052-531-1820

ホームページ: [名古屋新生教会](#)

この夏は全国各地で、“記録的”な猛暑や大雨が観測されました。土砂災害や河川の氾濫による洪水になった地域もあります。特に能登半島では「能登半島豪雨」が発生し、1月の「能登半島地震」の復興が始まったばかりの地域に豪雨と洪水・土砂災害をもたらしました。仮設住宅でも床上浸水になり、地震の被害から避難生活されていたりっしやる方々にとって耐えがたい追い打ちになりました。心からお見舞い申し上げます。

長い長い“夏”もようやく一段落し、少しずつ秋らしくなってきました。2学期は、運動会、文化祭、音楽祭、学芸会など、それぞれの学校で様々な行事が予定されていることでしょう。自分にとって得意なこともあれば、苦手なこともあります。みなさん一人ひとりが目立たなくても、それぞれに与えられた役割に取り組んで、輝いてください。みなさんの活躍を祈っています。

## 今月の礼拝 単元13: 約束の地で

📖 …お話 🎵 …奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中高生) 9:00 ~ 9:30	プレイ・タイム (小学生/中高生) 9:35 ~ 9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00 ~ 10:20
10月6日	ヨシュア	ヨシュア記 1章、3章	📖 堤 砂里奈 🎵 安達いづみ		📖 武岡 基 🎵 安達いづみ
10月13日	エリコの壁	ヨシュア記 6:1-21	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ		📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
10月20日	アカンの罪	ヨシュア記 7章	📖 安達正樹 牧師 🎵 武岡路実		📖 安達正樹 牧師 🎵 武岡路実
10月27日	カレブの信仰	ヨシュア記 14章、24章	📖 武岡 基 🎵 安達いづみ		📖 安達いづみ 🎵 武岡路実

### 特別伝道講演会のご案内

※朝の礼拝は通常どおり ティーンズ礼拝9:00～、こどもれいはい10:00～、主日礼拝10:30～ ※

◇10月20日(日) 特別伝道講演会 13:00～15:00

講師: 泉川 道子 先生 愛農学園農業高等学校(三重県伊賀市) 教頭

CSのみなさんも、お家の方も、お気軽にお越しください。

「神無月(かんなづき)」日本では古来からの言い伝えとして、10月には日本中の八百万(やおよろず)の神様が出雲の国(島根県)・出雲大社に集まって会議を開くため、他の国には神様がいなくなってしまうことから「神無月」と呼ばれてきました。神様の集まる出雲の国では逆に「神在月(かみありづき)」と呼ばれています。八百万の神々が集まって話し合われる“議題”は、人の運命や縁(誰と誰を結婚させようか)など、また、来年の天候、農作物や酒の出来なども話し合われているそうです。「神無月」であっても、神さまはいつも私たちのそばにいてくださいます。

## 今月の聖句

「わたしたちの神、主にわたしたちは仕え、その声に聞き従います。」 (ヨシュア 24:24)

## 今月のさんびか♪

こどもさんびか 38 (ひらけ、とこしえのとびらよ) 1節 讃美歌21…123

9月の「出エジプト記」のモーセの続きとして、今月のCS礼拝では「ヨシュア記」から学びます。8月の終わりから旧約聖書「出エジプト記」のモーセについて学んできましたが、ヨシュアはこれまでもモーセに仕えてきた一人です。モーセがシナイ山で神さまから十戒を授かった際にも同行し、カナンを偵察にも行っています。そして、年老いたモーセから後継者として任命されました。その後の指導者としてのヨシュアについて今月は学びます。

今月のさんびか38「ひらけ、とこしえのとびらよ」は、詩編24篇に基づいて作られました。詩編全体はおもにダビデによる賛歌が記され、神さまへの信仰を表す者としての心得といったことが示されています。詩編24篇はダビデが「契約の箱」をエルサレムへと運び入れる場面だと言われています。「契約の箱」にはモーセが神さまから与えられた十戒が刻まれた石版が収められていて、後継者のヨシュアがカナンを地へ運び入れ、その後も代々“神さまと私たちを結びつけるもの”＝“神さまを象徴するもの”として大切に受け継がれてきました。そして、後のダビデの時代にダビデの町エルサレムへと運び入れられたのです。先月のさんびか14「こえのかぎり かみをたたえよう!」のように、シンバルや太鼓など、さまざまな楽器を鳴らしながら、盛大なイベントとなって町中の人びとが迎え入れたようです。ダビデの時代はエルサレムにはまだ「神殿」はなく、天幕(テントのようなもの)に収められ、さらに後のソロモンの時代になって神殿が建設されます。また、詩編24篇の記述は「救い主(イエス・キリスト)」のエルサレム入城の預言とも言われ、メサイアでは33「LIFT UP YOUR HEADS, O YE GATES」で詩編24篇の歌詞が歌われます。

このさんびか38「ひらけ、とこしえのとびらよ」は譜面をパッと見ると「何とも歌いにくそうな」と思ってしまうのですが、大きく分けると1・2段、3・4段、5・6段の3つに分けられます。最初の1・2段と最後の5・6段は「答唱」と呼ばれ、わかりやすく言えば「くりかえし」の部分です。しかも1と2段、5と6段もすべて同じメロディーです。この“くりかえし”部分をベースにして、3・4段で「詩編」の歌詞が登場します。3段は“くりかえし”部分の3度上で同じメロディー、4段は3段とほとんど同じだけど2小節目だけちょっとアレンジした感じの作りになっています。ただ、リズムとしてはどの段も、|♪♪♪|♪♪♪|♪♪♪|♪♪♪| (タ・タン・タ|タ・タ・タ・タ|タ・タン・タ|タン・タン)と、まったく同じですので、とても歌いやすく作られています。曲はイスラエル民謡を元に、ジョン・ファーマンさん(1941-)によって1973年に現在の形に編曲されました。

詞は「答唱」の部分のカトリック司祭ウィラード・ジャバシュさん(1930-)によって1966年に作られ、「詩編」の部分は長老教会の牧師アーロ・ドゥーバさん(1929-)が歌詞にまとめました。

「詩編」の部分(3・4段)は1節では3回、2節3節では2回繰り返します。1節～3節すべて歌うととても長いので、CSでの礼拝では1節だけ歌うことにします。ダビデの時代の人びとの歓喜を想像し、またイエスさまのエルサレム入城を想像して、心から神さまをお迎える賛美をしましょう!

## がたんじょうびおめでとう🎂

10月生まれのお友だち

10月31日…「宗教改革記念日」

1517年10月31日、神学者マルティン=ルターがドイツのヴィッテンベルク城教会の扉に「95か条の提題(論題)」を貼り出したことから「宗教改革」が始まりました。これは当時の教会のあり方に対して疑義を表明したものでしたが、受け入れられなかったため、教会の改革運動から新しくプロテスタント教会が生まれ、「ルター派」としてヨーロッパ各地に広がりました。その理念の中心は「聖書のみ」「信仰のみ」「万人祭司」です。当時ヘブライ語等のみだった聖書は自分たちで読める言語に訳しました。礼拝では、会衆が自分たちの声で賛美歌を歌うことが大事にされるようになりました。ルター自身も賛美歌を作り、『讃美歌21』では377「神はわが砦」の他、多くの賛美歌が残っています。

